

競技注意事項

1. 規則について

本大会は原則として以下の規則および本大会申し合わせ事項により実施する

- 1) IFSC 国際競技規則
- 2) 国民体育大会山岳（クライミング）競技規則

2. 競技場使用上の注意

- 1) 荷物は指定された場所において、各大学で責任を持って管理すること。また、貴重品類は各自で保管し、万一のことがあっても主催者側が責任を負うことはない。
- 2) 競技場内の全ての電源の使用を禁止する。

3. ナンバーカードについて

- 1) ナンバーカードは正規のものを1枚配布する。上衣背面に確実につけること。すべてのナンバーカードへの加工、変形は禁止する。
- 2) ナンバーカードの地色、数字の色は次表の通りとする。

種別・種目	ナンバーカード
男子ボルダリング	地色：白、数字：黒
女子ボルダリング	地色：白、数字：赤
男子スピード	地色：白、数字：青
女子スピード	地色：白、数字：ピンク

4. ユニフォームについて

『ユニフォーム規程』を参照すること。これらの基準に違反した場合は、当該大学の全選手に対して警告処分（イエローカード）を下す。

5. 棄権について

エントリー後、病気または事故等により、やむなく棄権する場合は審判長に申し出ること。ただし、代表者会議にて棄権を申し出た場合は提出不要である。

6. 競技について

1) ボルダリング種目について

- ①本大会のボルダリング種目は、国民体育大会で実施されている団体戦形式を採用する。
- ②1校1チームとし、チーム構成は監督1名、正選手4名、予備選手2名の7名とする。
- ③競技時間は、1面2課題につき予選8分、決勝6分とする。
- ④予選は4課題、決勝は2課題とする。
- ⑤予選はIFSC 国際競技規則による予選・準決勝方式、決勝はIFSC 国際競技規則による決勝方式を採用する。

2) スピード種目について

- ①本大会のスピード種目は、原則としてIFSC 国際競技規則追補・スピード（クラシック・フォーマット）に準ずる。
- ②1校1チームとし、チーム構成は正選手2名、予備選手1名の3名とする。
- ③各チームの奇数番号の選手がAレーン、偶数番号の選手がBレーンを登り、その合計タイムを当該チームの記録とする。

3) 選手の交代について

本大会より、選手の交代は代表者会議以降認めない。

9. 表彰について

- 1) 男子及び女子の総合優勝校を表彰する。
- 2) 男子及び女子の各種目 3 位までに入賞したチームは、全競技終了後に表彰を行う。
- 3) 男子及び女子の各種目 4 位から 8 位までに入賞したチームは、賞状を授与するので、閉会式終了後大会本部で賞状を受け取ること。
- 4) 表彰を受ける際は、正装を着用すること。
- 5) 代理表彰は一切認めない。

10. 対校得点及び順位

- 1) 対校得点は、男子及び女子の各種目 1 位 2 4 点から 8 位 3 点まで 3 点刻みとする。
同順位により、対校得点を割る場合には小数計算（ただし、同順位が小数計算で算出できない場合は分数計算とする）を行う。その計算は成績集計員が行う。
- 2) 優勝校は最多得点校 1 校とする。最多得点校が 2 校以上ある場合は、いずれかの種目でより上位に入賞したチームが所属する大学が上位とする。
- 3) 上記 2) によって優勝校が決定しない場合は、本協会理事会が決定する。
- 4) 2 位以下の順位は得点順とし、同得点の場合は 2) に準じて決定する。これで決定しない場合は、同順位とする。

11. 抗議について

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、監督もしくはチームの代表者により結果が公式成績掲示板に正式発表されてから 5 分以内に、主任審判員を通じて口頭及び抗議申立書にて審判長になされなければならない。その際、初めに主任審判員に口頭で抗議を申し立てる意思があることを伝達した上で、抗議申立書を作成し預託金 10,000 円を添えて提出すること。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。時間内に申し出がなければ、何ら問題のなかったものとみなされる。

12. その他

- 1) 競技運営上、多少の競技日程の変更をする場合がある。
- 2) 盗難・紛失について
主催者側で預かった物品に関しては一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。（遺失物は大会本部で管理する）。
- 3) 競技中に不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。その他、不明な点は問い合わせること。